

例 材料費を計上し直接人件費の合計に○%掛ける場合

操作

基礎/地区 工種費目 機械損料 設計書単価

データ切替

検索

AND検索 OR検索

表示切替

再読込

単位

諸雑費

直接人件費

採用(S)  
差し替え(R)  
採用(構成予測)(A)  
採用(工程履歴検索)(K)

第1区分

直接測量費(積上) 平積形式

名称 / 規格	算出数量	単位
平積形式	1.000	式

種別	コード	名称 / 規格
1	TR0560H	測量主任技師
2	TR0600H	測量技師
3	TR0630H	測量技師補
4	P0000001	計
5	P0000002	単位当たり

下位に入った状態で[単位]へ移動し一番上にある[諸雑費]をクリック  
右に表示される一覧から一番下のコードT#99名称が空白、単位が%の行を  
右クリック→採用(S)またはダブルクリックで内訳書内に採用します。  
(図では計の行を選択しているためその上に%行が採用されます)

直接測量費(積上) 平積形式											
名称 / 規格		算出数量	単位	金額	直入単価	摘要	基準	コード			
平積形式		1.000	式	142,758	138,600			GXN01010-0003			
種別	コード	名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要	属性	備考	定義	参照
1	TR0560H	測量主任技師	1.000	人	54,600	54,600	R0604			1	
2	TR0600H	測量技師	1.000	人	47,100	47,100	R0604			1	
3	TR0630H	測量技師補	1.000	人	36,900	36,900	R0604			1	
4	資材 T#99	材料費	3.000	%	138,600	4,158					1
5	P0000001	計				142,758					
6	P0000002	単位当たり				142,758					

計上後、名称に材料費、数量に任意の数値を入力。  
材料費の対象としたい直接人件費の定義に「1」を入力、  
材料費行の参照に「1」をそれぞれ入力。直接人件費の合計に材料費を掛けた  
金額を計上することができます。

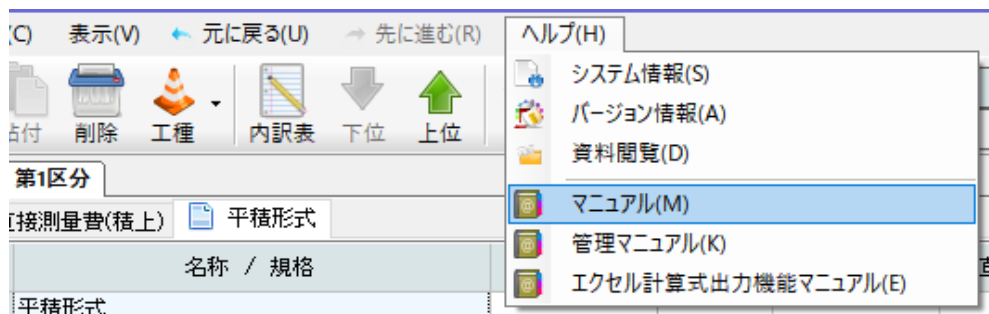
## 精度管理費の計上について

直接測量費(積上)		平積形式											
名称 / 規格				算出数量	単位	金額	直人単価	摘要	基準	コード			
平積形式				1.000	式	142,771	138,600				GXN01010-0004		
<													
種別	コード	名称 / 規格		数量	単位	単価	金額	摘要	属性	備考	定義	参照	
1	労務	TR0560H 測量主任技師 (外業)		1.000	人	54,600	54,600	R0604			1		
2	労務	TR0600H 測量技師 (外業)		1.000	人	47,100	47,100	R0604			1		
3	労務	TR0630H 測量技師補 (外業)		1.000	人	36,900	36,900	R0604			1		
4	資材	T#99 機械経費		1.000	%	138,600	1,386				A	1	
5	資材	T#99 材料費		1.000	%	138,600	1,386					1	
6	資材	T#99 精度管理費		1.000	%	139,986	1,399					A	
7	集計	P0000001 計					142,771						

精度管理費のように計上している直人+機械経費を行いたい場合、精度管理費の参照に1を入れても直接人件費のみが対象になります。

この場合は計上している機械経費の定義に「A」を、精度管理費の「A」を入力します。定義・参照には入力値により優先順位があり、上図のおいては定義1とAを足した金額を参照Aが入力されている単価欄に反映するという指示になります。

定義・参照についての詳細は



[ヘルプ(H)]、[マニュアル(M)]、27.諸雑費の計上方法(P370～374)

<1>定義・参照等をご確認ください。